令和6年8月8日 作成·更新日

事業名	さの新春	うんめぇも	んまつり開催支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	-			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	. 基本情報									
	部 産業文化スポーツ部			予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
担当組織	当組織 課 観光推進課			さの新春うんめぇもんまつり開催支援事業	予算	款	7	新規or継続	継続	事業
	係	観光事業係		COMTE 37000大G7000 7月时间之级学来	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H28	実施方法	直	営
TYNK LLINK	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開							
2. 事業概	既要と目的及	とび(基本計	画期間内)目標値							

(1) 事業概要

さの新春うんめぇもんまつり実行委員会に対し、運営費の一部を補助することにより、まつりを安定的・発展的に実施してもらう。

これにより市の魅力を広くPRし、観光誘客を促進するとともに、まちなかの活性化を図る。

実行委員会事務局⇒佐野商工会議所経営支援課

市関係課⇒観光推進課、産業政策課、広報ブランド推進課

(2)目的

事業概要

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		佐野市観光協会ホームページアクセス数	千件	300	250	180	185	190
(本事業に	  本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらう。	来場者数	人	20,000	10,000	20,000	20,000	20,000
よって成し 遂げたい	本川の極力を知りてもつい、未初、相周してもつり。 							
状態)								
,				·			·	

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(エノ/白男	<b>30天</b> 候	(2) / 口割で式切りつ数値ノープ及び手未良の性物					
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
		実行委員会開催回数	回	0	3	4	
~~! <del></del> /-	令和6年1月7日に「第8回さの新春うんめぇもんまつり」が開催され	まつり開催回数	回	0	1	1	
活動実績 (R5年度に	た。						
行った主な活動内容)	市の活動	事業費計	千円	0	200	200	
ション かいりょう	実行委員会への参画、補助金の支出、当日スタッフとして従事	一般財源	千円		200	200	
		特定財源(国·県·他)	千円	·			
		(うち受益者負担)	千円				

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明 (定量及び 定性) 及び来場者増加につながった。		佐野市観光協会ホームページアクセス数	千件	203	165	219	値が大きいほど良い	効果が上がった
	まつりを開催したことにより本市の魅力を知ってもうことでHPアクセス数	来場者数	人	0.0	10,000	20,000	値が大きいほど良い	効果が上がった
	及び来場者増加につながった。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
か田	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

継続的なイベントの実施

(2)	ト記反省占及が課題を踏まえた。	会和6年度及び会和7	年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直し		事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しな	Ľ)
---------------------------------	--	----------	---------	------	------------	----

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

ボランティアスタッフ等を起用し、市民と一体となった祭り運営を行うことにより、成果向上及びコス ト削減につながる。

事業名	スプリング	グフラワーフ	<b>ルスティバル開催支援事業</b>	実施計画事業or一般事業	—£	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	. 基本情報									
	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	繰り返し
旦当組織	課	観光推進課		━ スプリンクフラワーフェスティバル開催支援事業┃	予算	款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光事業係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等	目		4	義務or任意	任意的事業	
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H1	実施方法	直	営
LXXK PTVI	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開							
2. 事業概		とび(基本計	画期間内)目標値							

(1) 事業概要

1

佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員会を設置、同委員会への交付金を支出する。同委員会がイベントを主催する。

事業概要 【イベント概要】日本有数の規模でかたくりの花が群生する「万葉自然公園かたくりの里」での「かたくりの花まつり」をメインに春の花をテーマにしたスプリングフラワーフェス ティバルを開催することにより、本市の美しい自然を市内外に紹介し、誘客を図る。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		かたくりの里駐車台数	台	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
(本事業に				-	-			
	多くの市民・観光客に佐野の春の花をたのしんでもらう。							
遂げたい								
状態)								
•								

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績	佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員会へ交付金支出 -	会議・打ち合わせ回数	回	1	1	1
		広報·宣伝回数	回	0	11	10
	(実行委員会の活動) 佐野スプリングフラワーフェスティバル実行委員会開催	準備回数		5	12	12
行った主か法し	佐野スプリングフラワーフェスティバル2024	事業費計	千円	1,900	1,900	1,900
	安全対策のため警備員を設置、佐野市観光協会による駐車料金	一般財源	千円	1,900	1,900	0
	の徴収	特定財源(国·県·他)	千円			1,900
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

R4と比較して駐車台数は増加したが、R3と比較すると以前減少傾向にある。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
かたくりの里駐車台数	台	2,080	1,136	1,361	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
が田	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

かたくりの花の開花期間が年々短くなってきており、花の数も減少している。また、当時は、かたくりの花を観光できる場所がなかったことから多くの来場者があったが、近年はそうした 場所も増えてきている。

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた。	今和6年度及び今和	7 年度の取組

事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど	^)
事業効果を上げるための事務改善の検討	

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

イベントの効果的な周知。かたくりの群生地の環境整備。

事業名	観光事業	<b>養者との連携強化事業</b>	実施計画事業or一般事業	実施語	十画事業	市長公約	3-⑤	総合戦略	該当なし	
	-		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	1. 基本情報									
	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し	
+口 17 (口(中	-m	5B \\/ +# \# = B		~ <del>~</del>	±b		かに ナロ くりかく 士	◇小小・	:击₩	

1. 至今1	月千以								
	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	観光推進課		観光事業者との連携強化事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光事業係		一般儿争来省との建秀強化争来	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H19	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開						

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

観光誘客における観光事業者との連携において、佐野プレミアム・アウトレット内での観光PR事業を展開することにより、市内各所の観光スポットへの誘客及び回遊性を高める。また、観光ツアー造成の働きかけを行う。 (一社)佐野市観光協会に業務委託。

(2)目的

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

本市の魅力を広くPRするため、近隣自治体を含めた観光関係団体 と連携したPRイベントや各種ツアーの企画、観光スポットのライティン グを展開することで、観光誘客の増加を図る。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
_	観光協会企画ツアー利用者総数	人	600	100	110	120	130
`	さのあかり来場者総数	人	0.0	0.0	5000.0	8000.0	10000.0

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	・5月、6月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月に佐野プレ
活動実績	ミアム・アウトレットで「さのまるっとマルシェ」を開催した。名産品や農産
(R5年度に	物等の販売及びPR冊子の配布を行った。
行った主な活	・市内観光スポット2箇所でライティングを実施した。
動内容)	出流原弁天池・磯山弁財天会場(11月中の計6日間)
	唐沢山城跡・唐澤山神社会場(11月及び12月の計4日間)

(2)石動で記切りる数値)一分及び事業員の推移								
活動指標	単位	R3	R4	R5				
観光PR回数		4	7	9				
打ち合わせ回数		8	10	10				
ライティングを実施した観光スポット数	箇所	0	0	2				
事業費計	千円	300	300	5,261				
一般財源	千円	300	1	0				
特定財源(国·県·他)	千円		299	5,261				
(うち受益者負担)	千円							

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性) ・都内小学校の修学旅行やパキスタン私立学校経営者教育視察など受注型ツアーが増えたことにより、ツアー利用者が増えた。

・初めての試みである観光スポットライティング事業により、新たな観光 誘客へと繋がった。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ž Ž	観光協会企画ツアー利用者総数	人	84	64	173	値が大きいほど良い	効果が上がった
	さのあかり来場者総数	人	0.0	0.0	7,994.0	値が大きいほど良い	効果が上がった
洸							

(5)費用対効果結果(自動判定)

,	( - )							
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し						
さ 田 た	効果が上がった指標数	2指標						
	効果は変わらない指標数	0指標						
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標						
指標值増減)	指標全体	効果が上がった						

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった						
	費用の増減無し	0					
用	費用が増加した						

#### 4. 次年度に向けた検討

- (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題
- ・出展者が固定化しているため、近隣自治体と連携した広域的なPRを実施する必要がある。
- ・プロポーザル方式の業務委託による事業者選定を行ったため、業務時間が増加した。
- ・さのあかりにおける来場者がライティング会場以外への回遊及び市内宿泊に繋がるような方策の検討が必要。

#### (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しな	よど)
--	----------	-----------------------	-----

- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- ☑ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

実行委員会を設立し、事務局を他団体が担う。

事業名	<b>4 佐野市観光協会支援事業</b>		<b>逐援事業</b>	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	<b>手</b> 報									
	部	観光文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
	課	観光推進課		   佐野市観光協会支援事業	予算	款	7	新規or継続	継続	事業
	係	観光推進係		性野川既儿伽云又汲尹未	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	虫事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	勺事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H16	実施方法	直	営
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開			•	•		•	

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

佐野市の観光誘客の向上を目指し、観光資源の発掘、観光PR事業を積極的に展開し、また、観光物産会館を中心とした特産商品の開発等の事業展開を積極 的に図ることを目的とする佐野市観光協会への補助金交付事業。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		市の観光客入込数	人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
(本事業に	佐野市をPRすることにより本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊し	市の観光宿泊数	人	50,000	60,000	61,000	62,000	63,000
よって成し 遂げたい	てもらう。							
状態)								
					·			

## 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	W	Webサイトアクセス数	回/日	1,226	1,135	1,396
	【市の実績】 観光協会が実施する事業への協力支援	X(Twitter)フォロワー数	人	3,861	4,485	4,986
活動実績 (R5年度に	「協会の実績】 「観光 P R、観光誘客事業、観光事業者等との連携、観光イベント	観光イベント開催回数	回	2	2	4
		事業費計	千円	4,350	4,350	4,350
	開催等 ※佐野市観光物産会館・みかも山観光物産会館指定管理	一般財源	千円	4,350	4,350	4,350
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい 指標の性質

R4とR5の比較

R5

効果指標 単位 R4 R3 市の観光客入込数 6,429 6,503 民間目線によるマーケティングマネジメントの導入のほか、新型コロナ 効果説明 市の観光宿泊数 40,914 56,943 人 ウイルス感染症が5類感染症に移行したことも影響し、観光入込客 (定量及び 定性) 数及び宿泊者数ともに増加となった。

7,134 値が大きいほど良い 効果が上がった 64,290 値が大きいほど良い 効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
が田	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった						
	費用の増減無し	0					
用	費用が増加した						

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

|社会における価値観やライフスタイルの多様化などにより、観光の形態も団体型から個人型が主流になってきており、多様な価値観やニーズに対応した着地型観光商品を造成す ることで地域活性化につなげる取組など、それぞれのニーズに合った観光サービスの提供が求められている。

(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	令和 6	年度及び	令和 7	年度の取	綖
-----	-----------------	------	------	------	------	---

Ш	事業の在り万検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	
П	事業効果を上げるための事務改善の検討	

□ 事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり

1 ひとを集める観光戦略の展開

参画事業

事業分類

事業名	栃木県ア	フンテナショ	ップ協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u> j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情報										
	部	観光文化スプ	パーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	観光推進課		栃木県アンテナショップ協議会	予算 款		7	新規or継続	継続	事業
	係	観光推進係		参画事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
1	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H24	実施方法	直	営
以水件水					++0.00					

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

政策

施策

事業概要

栃木県アンテナショップ協議会会員として、負担金を支出し、会議やイベントに参加し栃木県アンテナショップの内容充実、さらなる充実を図る。なお、栃木県アンテナ ショップ協議会は県及び県内全市町村で構成され、栃木県の知名度アップ、ブランド価値向上、地域産業振興、誘客促進を図ることを目的に組織されている。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		市の観光入込客数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
(本事業に					-	-		
	国内に在住する人に本市の魅力を知ってもらい、誘客につなげる。							
遂げたい								
状態)								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

期間

終了年度

	<b>7大</b> 候	(2) 石動を説明する数値リーグ及び事業員の推移					
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
活動実績 (R5年度に	①負担金の支出 ②運営会業(3回) 総会(2回) 音目交換会	会議への出席回数		8	7	6	
行った主な活 動内容)		事業費計	千円	736	923	804	
<b>動内谷</b> )		一般財源	千円	736	923	804	
		特定財源(国·県·他)	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことも影響し、 観光入込客数及び宿泊者数ともに増加となった。 アンテナショップにおける佐野市に関する商品の売上額が令和4年 度に比べ増額となった。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
市の観光入込客数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
さ 田 た	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果				
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
費	費用は下がった	0				
	費用の増減無し					
用	費用が増加した					

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

日本の一大観光名所となる東京スカイツリーにアンテナショップを設置することは、佐野市においても誘客促進の大きな効果が見込める。アンテナショップと連携したイベント等開催の 検討が必要である。

(2)	上記反省占及び課題を踏まえた。	会和6年度及び会和7	/ 圧度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
✓	事業効果を上げるための事務改善の検討

事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

アンテナショップと連携したイベント等開催の検討。

作成·更新日 令和6年8月8日

事業分類

支援事業

R6 10,000

185.0

10,000

190.0

事業名 どまんなかフェスタ佐野開催支援事業		実施計画事業or一般事業	— <sub>f</sub>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情報										
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名	予算	会計	一般	事業計画	単年度組	繰り返し
担当組織	課	観光推進課		<b>−</b> とまんなかノエスタ佐野開催支援事業Ⅰ		款	7	新規or継続	継続	事業
	係	観光事業係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	り事業
<b>政学体</b> 系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H20	実施方法	直	営

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

政策

事業概要

政策体系

どまんなかフェスタ佐野実行委員会に交付金を交付し、どまんなかフェスタ佐野の開催を支援している。

1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり

1 ひとを集める観光戦略の展開

※どまんなかフェスタ佐野実行委員会は、どまんなかフェスタ佐野開催のために関係団体、参加団体等により構成された組織。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	
目的		来場者数	人	46,000	10,000	10,000	ſ
(本事業に	各団体活動の周知・活性化を促し、市民や観光客など来場された	佐野市観光協会ホームページアクセス数	千人	300.0	250.0	180.0	ſ
よって成し 遂げたい	お冬桂には加売の時度品・伝統サイドに触れていただを繰金とする						ſ
状態)							
,							ſ

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

期間

終了年度

		活動指標	単位	R3	R4	R5
(R 5 年度に 行った主な活)・実	どまんなかフェスタ佐野実行委員会の活動 ・実行委員会の関催(今和5年7月10日)	会議開催回数	回	1	1	1
		実行委員数	人	17	15	17
		広報チラシ配布数	枚	0	46,000	46,000
		事業費計	千円	0	3,000	3,600
		一般財源	千円	0	3,000	0
		特定財源(国·県·他)	千円			3,600
		(うち受益者負担)	千円	·		

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

新型コロナウイルス感染症の分類が 5 類に引き下げられたことに伴い、ステージイベントも再開し、来場者も増加した。

( ) 3 214/3211-020 /33 020/1112					¥ /C 3/ 10 .	
効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
来場者数	人	0	20,000	25,000	値が大きいほど良い	効果が上がった
佐野市観光協会ホームページアクセス数	千人	203.0	165.0	219.0	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
か田 -	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果				
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
費	費用は下がった	0				
	費用の増減無し					
用	費用が増加した					

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

設営費等の高騰に伴い、出展者による負担金の増額を検討する必要がある。

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた。	令和6年度及び令和7年度の取締	H

✓	事業の在り方検討	(廃止、休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
---	----------	---------	------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

」 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

市外県外からの観光誘客に寄与しているかの検証。

作成•更新日 令和6年8月8日

 事業名
 「本物の出会い 栃木」観光プロモーション参画事業
 実施計画事業or一般事業
 一般事業
 市長公約
 該当なし
 総合戦略
 該当なし

 <td rowspan="2" color="1" color="1"

		部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	観光推進課		「本物の出会い 栃木   観光プロモーション参画事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
		係	観光事業係		本例の山云い 伽木」観光しノロモージョンシ 画手来		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H10	実施方法	直営
	TYNK LLINK	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	参画事業
١		施等	1	7)とを集める観光戦略の展開						

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

(=) 3 2 4 12 12

「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会に会員として負担金を支出し、協議会主催の会議、イベント、キャンペーンに参加している。

※「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会とは、栃木県への観光誘客の増大と定着及び観光産業の振興を図ることを目的として、県、市町村、観光関連団体等で構成している団体。平成26年より「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会から「本物の出会い栃木」観光キャンペーン推進協議会に名称変更した。

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	  関東地方及び近県住民(1都6県+福島県+新潟県)を対象	市の観光客入込数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
(4.2-26)								
	として栃木県への観光客の増加を図り、佐野市への観光誘客に結							
	<b>ド</b> つける。							
状態)								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/113	切大慎		7次0 学来員の世份			
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議への出席回数		5	5	5
\	(市の活動) 負担金支出、会議への出席、広報宣伝物の作成協力、観光キャ	イベント等参加回数		0	7	6
	活動実績 関担金文出、会議への出席、広報宣伝物の作成協力、観光キャンペーン参加 (協議会の活動) 会議の開催、パンフレット作成、広報宣伝、イベント開催					
1		事業費計	千円	250	250	100
		一般財源	千円	250	250	100
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

#### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
***	=24.00		市の観光客入込数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった
	説明	<b>組出する 大学を表現した</b>							
	€及∪ 性)	観光入込客数が増加した。							
~_	11)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

広域連携でのキャンペーンをより多くすることにより、戦略的に事業を推進することで成果の向上が見込まれる。

( つ )	レコロル上なが無時も別とした	令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、位	木止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	-------	-----	------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

-	-60	= 14	
Ħ/	7糸片	景兄	LHH.

観光誘客のターゲットや方針を同じくする自治体と連携し事業を実施する。

作成·更新日 令和6年8月8日 事業名 観光キャラバン事業 実施計画事業 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 市長公約 3-(5) 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 単年度繰り返し 部 産業文化スポーツ部 予算中事業名 会計 一般 事業計画 担当組織 課 観光推進課 予算 款 7 新規or継続 継続事業 観光キャラバン事業 観光事業係 科目 項 1 市単独or国県補助 市単独事業 係 根拠法令、条例等 4 義務or任意 任意的事業 体系コード 211 名称 目 一部委託 基本目標 新たな流れの創造による賑わうまちづくり 事業 開始年度 H10 実施方法 2 政策体系 期間終了年度 事業分類 その他市民に対する事業 政策 1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり 施策 1 ひとを集める観光戦略の展開 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 観光協会や民間企業等と協力して観光キャラバン隊を編成し、観光誘客向上のため、市外でのセールスを行う。 (2)目的 (3)目標値 単位 R3 R4 R5 R7 効果指標 **R6** 日的 佐野市観光協会ホームページアクセス件数 事業 400 400 450 450 450 (本事業に 千人 8400.0 8500.0 観光客入込数 8600.0 | 8700.0 | 8800.0 よって成し 全国の人々を対象として本市への観光誘客を図る。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 R4 R5 活動指標 観光キャラバン回数 3 26 30 7/14 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議 新越谷キャン ペーン 活動実績 8/15 みどり市連携 草木湖まつり (R5年度に 行った主な活 10/21 「本物の出会い 栃木」とちぎ誕生150祭 事業費計 千円 200 200 200 動内容) 2/7~13 佐野市観光PRin東京都庁 一般財源 千円 200 200 200 ほか 合計30日間実施 特定財源(国・県・他) 千円 千円 (うち受益者負担) (4) 事業効果を説明する数値データの推移 (3)活動による効果 ↓選択して下さい 単位 R3 R4 R5 指標の性質 R4とR5の比較 効果指標 219 値が大きいほど良い 効果が上がった 佐野市観光協会ホームページアクセス件数 千件 203 165 効果説明 6,429 観光キャラバンを通して、本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊に 観光客入込数 7,134 値が大きいほど良い 効果が上がった 千人 6,503 (定量及び つながった。 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 効果 ※10万円以上の増減により判断 2指標 効果が上がった指標数 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった 効果 効果は変わらない指標数 0指標 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標値増減) 用 指標全体 効果が上がった 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 夏の時期に何をPRしていくかの検討。

( つ )	レコロル上なが無時も別とした	令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	---------------

事業効果を上げるための事務改善の検討 V

事業費の見直し検討 П

業務時間効率化のための事務改善の検討 П

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

対象に合致した新規キャンペーンの実施及びPR方法の検討。

仕事の振り返りシート(令相5年度美施分)							作馬	成・更新日	2024	年8月8日		
事業名	関東菊花			実施計画事業or一般事業	— <u>j</u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし		
1. 基本		I				1		I				
+口 11/4口6並	部	産業文化ス		予算中事業名	~~	会計		事業計画		繰り返し		
担当組織	課 係	観光推進課 観光事業係		関東菊花競技大会開催支援事業	予算 科目	<u>款</u> 項		新規or継続 市単独or国県補助		事業 虫事業		
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等	171	目		義務or任意		五尹朱 内事業		
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	(1)人以 (1)人(A)	事業	開始年度		実施方法		営		
政策体系	政策		観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度	31	事業分類		事業		
	施策	-	ひとを集める観光戦略の展開		7 131-3	<b>小、」十</b> 及		于未乃及	2,1%	. 于木		
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 関東菊花競技大会に補助金を支出している。また、関東菊花競技大会の開催支援(後援・協賛依頼、賞状下付申請・版徴求、チラシ・ポスターの配布、報告書作成、表彰式の開催支援)を行っている。  ※関東菊花競技大会は、晃陽会・佐野市主催の菊の競技大会であり、昭和4年の第1回大会以来一度も欠かすことなく開催されてきた歴史ある大会である。									<b>龙、表彰</b> 式			
(2)目的	ła .			(3)目標値								
( - / LIP	<u> </u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的				菊花出品数	品	1,200				1,200		
(本事業に	菊愛好家、	市民、観光智	客に対して社会情操教育と文化の向上、	来場者数	人	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000		
よって成し 遂げたい	菊花栽培0	)鑑賞と普及	発展を促し、観光誘客を図る。									
状態)												
<b>3. 前年</b> 原(1)活動		舌動及び費用	<b>引対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ	: 一夕及て	が事業費の	准移					
			活動指標	単位	R3	R4	R5					
				後援依頼事業者·団体数	件	9	9	9				
			3賛依頼(9月~10月)·賞状下付申	賞状依頼事業者·団体数	件	25	25	25				
活動実績			1月)・表彰式実施支援									
(110 1 )2.0		スターの配布										
行った主な活動内容)			活動)・第95回関東菊花競技大会の  1日〜23日 春日岡山惣宗寺境内に	事業費計	千円	1,000	1,000	1,000				
			1月23日、佐野中央公民館にて)	一般財源	千円	1,000	1,000	1,000				
	() 1(1)			特定財源(国·県·他)	千円							
				(うち受益者負担)	千円							
(3)活動	動による効果	:		(4) 事業効果を説明する数	ぬ値デー	タの推移			↓選択して	て下さい		
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較		
効果説明	*****	4.v. <del>1.</del> 10 +/44		菊花出品数	品	1,200	1,200		値が大きいほど良い	効果が下がった		
(定量及び			は従来と同数程度だが、菊愛好家の高齢	来場者数	人	29,000	29,000	29,000	値が大きいほど良い	効果は変わらない		
定性)	11年の17年	E々減少傾向	にめる。									
/-> ##F		T /	->			I		I	I			
		果(自動判定						か 田		1		
	とR4の一般  効果が上か		費用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果	効果が下がった			
効果	効果は変わ	らない指標数	1指標		費	費用は下がった	73.7K/31/3 / 3/C	7/37KT09E17 2-04	73.7.7.7.7.C			
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	うた指標数 指標全体	1指標		用	費用の増減無し			0			
_	 <b>度に向けた検</b>  15年度の	討	効果が下がった ける反省点、環境変化や関係者からの意見	】 見等を踏まえた検討課題、費用:		費用が増加した	の課題			l		
菊愛好家の	の高齢化によ	り、菊花の出	品数が減少傾向にある。また、新規の菊愛	好家の参加や、若年層への周知	印が課題	であると考え	える。					
(2)上言	记反省点及征	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組									

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) □ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

2024年8月8日 作成•更新日

事業名 佐野コミュニケーションセンター運営事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 一般事業 実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報

	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	観光推進課		佐野コミュニケーションセンター運営事業	予算	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光事業係		佐野コミユニケーションピンケー建名事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H14	実施方法	一部委託
IXXX PTVI	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開						

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

事業概要

佐野コミュニケーションセンター管理・管理運営協議会の事務(施設運営・パンフレット設置/ポスター掲示/商品展示/ホームページ登録) 佐野ナビゲーションフェアの開催。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		ホームページアクセス件数	件	10,000	10,000	6,000	6,000	6,000
(本事業に	佐野プレミアム・アウトレット来場者、佐野コミュニケーションセンター来 場者に佐野市のPRをし、街中へ回遊してもらう。	パンフレット設置数	枚	30,000	20,000	25,000	25,000	25,000
状態)								
<i>5</i>								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動宝績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/113	切大慎	(2) 伯勒飞机引导员数值人 7次0 争来真切出物					
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
活動実績 (R5年度に		事業者利用件数	件	86	88	95	
		キャンペーン開催件数		0	2	0	
	・施設運営(パンフレット設置、ポスター掲示、商品展示、ホーム						
行った主な活動内容)	ページ登録)	事業費計	千円	6,004	6,380	6,441	
期內合)		一般財源	千円	6,004	6,380	6,441	
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0	

(3)活動による効果

#### (4) 事業効果を説明する数値データの推移 14 /<del>L</del>

↓選択して下さい 15 1 = 5 M 55 - ...

			<b>刈未担</b> 保	半世	K3	K4	KS	指標の性質	R4とR5の比較
_	+L == H ==		ホームページアクセス件数(独自)	件	13,179	5,586	4,896	値が大きいほど良い	効果が下がった
3	ツ米説明 /宝号など	パンフレット設置数は増加したが、ホームページアクセス数はR3と比	パンフレット設置数	枚	18,790	23,418	24,046	値が大きいほど良い	効果が上がった
	(定量及び 定性)	較して $1/3$ 程度の数、 $R4$ と比較しても減少している。							
	~= (11)								

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

D4 DE

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R4で開催していたキャンペーンが行えなかったことで、佐野市のPRと市内回遊へ促すという目的をやや達成できなかった。センター内での商品販売や、新たな佐野市のPRや市内 回遊の方法を見直すことで、費用対効果が向上すると考える。

#### (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受 大 孝 色 切 の 目 直 し ナ	ハル

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

Į	取組説	明

店内陳列の見直し。

市内周遊につなげる新たな展開。

作成·更新日 2024年8月8日 事業名 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 担当組織 課 観光推進課 予算 款 7 新規or継続 継続事業 両毛地域·東武鉄道観光誘客連絡会議参画事業 1 市単独or国県補助 観光事業係 科目 項 市単独事業 係 211 根拠法令、条例等 4 義務or任意 任意的事業 体系コード 名称 目 開始年度 直営 基本目標 2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり 事業 H17 実施方法 政策体系 期間終了年度 参画事業 政策 1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり 事業分類 施策 1 ひとを集める観光戦略の展開 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要

両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議へ会員として負担金支出。総会や担当者会議への参加を通して各種観光誘客事業を実施。

事業概要 \*両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議とは両毛地域への観光誘客促進を目的として、東武鉄道、両毛7市(佐野市、足利市、館林市、太田市、伊勢崎 市、桐生市、みどり市) により構成している団体である。

(2)目的 (3)目標値

Ī			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的	<u> </u>	冊子作成部数	部	88,000	85,000	85,000	85,000	85,000
	(本事業に		イベント時パンフ配布数(佐野市分)	枚	3,500	1,500	2,500	2,500	2,500
	よって成し 遂げたい								
	状態)								
	2.7								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動宝績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/03	切大順	(2) 四動で肌切りる数値)	石動で記りする数値プープ及U事業員の配移				
		活動指標	単位	R3	R4	R5	
		会議回数	回	4	5	5	
	(1) ふらっと両毛パンフレット・ポスターの作成配布(秋冬版、春夏版)	イベント回数		0	3	3	
活動実績 (R5年度に		冊子等校正		30	30	30	
行った主な活動内容)	( ) 2000 ( ) ( )	事業費計	千円	800	800	800	
#JF 1 C /	(4) 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議の開催 (5) 誘客施策ワーキンググループ会議の開催	一般財源	千円	800	800	800	
		特定財源(国·県·他)	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

I			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	+1 cm = 14 nn	昨年度と比較して、冊子作成部数は変化がなかったが、パンフレット	冊子作成部数	部	85,000	85,000	85,000	値が大きいほど良い	効果は変わらない
			イベント時パンフ配布数(佐野市分)	枚	0.0	1,250.0	2,500.0	値が大きいほど良い	効果が上がった
	`	(定量及び 配布数は増加した。両毛地域及び佐野市のPR強化がなされてい - 定性) る。							
	ÆIL)								

(5) 費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
(221242	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった						
	費用の増減無し	0					
用	費用が増加した						

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

イベント実施の回数を増加を検討すべき。また、キャンペーンの地域と方法を見直し、より良いPRを行うことで両毛地域及び佐野市への誘客に繋がる。

(2) 上記反省占及び課題を踏まえた。今和6年度及び令和7年度の	To 幺F

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討	

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明	

作成:更新日 2024年8月8日

事業名 例幣使道軸共同開発協議会参画事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 一般事業 実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 産業文化スポーツ部 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 担当組織 課 観光推進課 予算 款 7 新規or継続 継続事業 例幣使道軸共同開発協議会参画事業 1 市単独or国県補助 観光事業係 科目 項 市単独事業 係 211 名称 根拠法令、条例等 4 義務or任意 任意的事業 体系コード 目 開始年度 直営 基本目標 2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり 事業 H22 実施方法 政策体系 期間終了年度 参画事業 政策 1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり 事業分類 施策 1 ひとを集める観光戦略の展開

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

|例幣使道軸共同開発協議会に参画し、足利市・栃木市・鹿沼市及び各観光協会と共同で、例幣使街道の観光PRを行い観光誘客向上を図る。

(2)目的

事業概要

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		観光客入込数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
(本事業に								
	よって成し 佐野市への観光客誘客の増加を図る。 遂げたい 状態)							
, (A.C.)								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(工)/口里	7大順		(2) 四勤で肌切りる妖胆力	-7/20	学来貝の	<b>性19</b>	
			活動指標	単位	R3	R4	R5
			イベント開催数		0	1	1
\\\							
活動実績 (R5年度に	(市の活動)						
		への参加・担当者会議への参加・御宿場巡り実施	事業費計	千円	200	200	200
<b> 3</b> /17 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1			一般財源	千円	200	200	200
			特定財源(国·県·他)	千円			
			(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
** ==	3 = 14 NO	税明 │ ⋧び │イベント開催数は昨年と同回数だが、観光客入込数は増加した。	観光客入込数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった
`	重及ひ :性)								
Æ	<b>足</b> E()								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
(551515	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった						
	費用の増減無し	0					
用	費用が増加した						

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度の協議会にて、解散するか否かの可否をとった。佐野市としては予算を既に計上しているため、令和6年度での解散が妥当であると回答した。 これからも協議会に参画することが妥当であるか検討する事が、一番の課題である。

(2)	上記反省占及び課題を踏まえた	今年 6 年度では今年 7 年度の	TITYE

1	事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受益者負担の目直しかり

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

Ħσ	细菜明

対象に合致したイベントやPRの実施。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成•更新日 令和6年8月8日

事業名	観光PR	車維持管理	理事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情		観光文化スプ	±° ω±Π	マ笠山市サク		<b>∧=</b> L	фЛ	古光二五	単年度	名ので
	部課	観光推進課		予算中事業名	予算	会計款		事業計画 新規or継続		繰り返し 事業
	係	観光推進係		観光PR車維持管理事業		項	1	市単独or国県補助		字来 虫事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等	11111	目	4	義務or任意		<u>3年来</u> 内事業
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	1202212121313	事業	開始年度		実施方法		<u>:</u>
政策体系	政策		観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		事業分類		
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開			1.12 1.22		2 21372777		
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業		及び(基本計	画期間内)目標値							
<b>事業概要</b>	観光PR活	動の一環として	、広告を掲載した観光PR車を、市内外の・	イベント等で活用を図る。また、近	適切な車	「両の維持管	管理を行う。			
(2)目的	5			(3)目標値						
(2) ==				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				市の観光入込客数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
(本事業に よって成し	佐野市の駅	まわをDDするご	とで、本市に訪れてもらう、宿泊してもらう。							
遂げたい	万丁五丁川コの万個	取りてしてる のこ	ことは、本川に動作でもうり、旧川してもうり。							
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	事業費の推	<b></b> 養			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				イベント等使用実績	回	1	3	2		
				関東地方と近県の人口	千人	47,550	47,478	47,420		
舌動実績	市主催の各種イベントの備品等を運搬するため活用した			(人口推計10/1住基台帳)						
			はかフェスタなど		千円	154	154	154		
動内容)										
				一般財源	千円	139	139	139		
				特定財源(国·県·他)	千円	15	15	15		
				(うち受益者負担)	千円					
				(75文皿日兴三)	113				l .	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5		
効果説明	十の知り	\1		市の観光入込客数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び			加していることから、観光PR車でのPR効果							
定性)	か増加して	いると考えられ	<b>්</b>						<del>                                     </del>	
						<u> </u>				
		果(自動判定		1				+1 m		1
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			********	効果	********	
効果		らた指標数 らない指標数	1指標 0指標		弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下か	うた指標数	0指標		費用	費用の増減無し	0			
百乐[[2]]城)		指標全体	効果が上がった		Л	費用が増加した				j
	<b>度に向けた検</b> 15年度の事		ナる反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対象果向	]上のための	課題			
—- 5主催の各	種イベント	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	亟的に活用する。							
(a) L=	15少上刀。	パミ田日百ナロ水ナー	st 人们(左连778人们?左连455							
(乙) 上記	[以自点及]	ノ誄起を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	Ī					
П	事業の左り	方ฝ計 (廢止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	以附近水	<u> </u>					
		上げるための	事務改善の検討							

業名	観光パン	<b>ノレット作</b>	成事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	12,07 67 17			施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
. 基本	青報									
	部	観光文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	燥り返し
l当組織	課	観光推進課		観光パンフレット作成事業	予算	款	7	新規or継続	継続	
	係	観光推進係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	211		根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	
<b>対策体系</b>	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H16	実施方法		
	政策 施策		観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくりひとを集める観光戦略の展開		期間	終了年度		事業分類	その他内部	事務事業
・ 子本( (1)事) (1)事) (2)目的 (2)目的 本事業に	<b>業概要</b> 日 観光パンフし 切	ノットの作成万	画期間内)目標値 なび配布 てう、宿泊してもらうため観光スポット知っても	<ul><li>(3)目標値</li><li>効果指標</li><li>パンフレット配布部数</li><li>ホの観光 λ 込 変数</li></ul>	単位部	R3 29,550		R5 15,000		R7 15,000
よって成し		野中に訪れ	(つ、佰泊し(もらつため観光スポット知っ(も		千人	10,000				8,800
遂げたい	らう。			市の観光宿泊客数	人	50,000	60,000	61,000	62,000	63,000
状態)										
〔1〕活動		ノットの作成	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標 観光パンフレット作成部数	タ及 <i>U</i> 単位 部	「事業費の対 R3 18,000	<u></u> R4 4,700	R5 6,500		
(1)活動 手動実績 R5年度に つた主な活	動実績 観光パンフ (事業費の	/ットの作成 )内訳)	<b>3対効果)説明</b> (マップ付) 6,500部	活動指標	単位	R3	R4			
(1)活動 活動実績 R5年度に	動実績 観光パンフ (事業費の	/ットの作成 )内訳)		活動指標観光パンフレット作成部数	部	R3 18,000	R4 4,700	6,500		
(1)活動 手動実績 R5年度に つた主な活	動実績 観光パンフ (事業費の	/ットの作成 )内訳)		活動指標観光パンフレット作成部数事業費計	部 千円	R3 18,000	R4 4,700	6,500 923		
(1)活動 手動実績 R5年度に つた主な活	動実績 観光パンフ (事業費の	/ットの作成 )内訳)		活動指標観光パンフレット作成部数事業費計一般財源	単位 部 千円 千円	R3 18,000	R4 4,700	6,500 923		
(1)活動 手動実績 R5年度に った主な活動内容)	動実績 観光パンフ (事業費の	ノットの作成 )内訳) と観光ガイド		活動指標 観光パンフレット作成部数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他)	単位 部 千円 千円 千円	R3 18,000 954 954	R4 4,700	6,500 923	  -  -	下さい
(1)活動 手動実績 R5年度に った主な活動内容)	動実績 観光パンフル (事業費の 佐野まるごど	ノットの作成 )内訳) と観光ガイド		活動指標 観光パンフレット作成部数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他) (うち受益者負担)	単位 部 千円 千円 千円	R3 18,000 954 954	R4 4,700	6,500 923		
(1)活動 手動実績 R5年主な活 のたれ容)	動実績 観光パンフル (事業費の 佐野まるごと	/ットの作成 )内訳) と観光ガイド	(マップ付) 6,500部	活動指標 観光パンフレット作成部数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数	単位 部 千円 千円 千円	R3 18,000 954 954 954	R4 4,700 641 641	923 923 923	<b>↓選択して</b> 指標の性質	R4とR5の比東
<ul><li>(1)活動実績ではいる。</li><li>(3)活動の内容がある。</li><li>(3)活動の内容がある。</li><li>(3)活動の内容がある。</li></ul>	動実績 観光パンフル (事業費の 佐野まるごと 動による効果	ンットの作成 D内訳) と観光ガイド	(マップ付) 6,500部	活動指標 観光パンフレット作成部数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 パンフレット配布部数 市の観光入込客数	単位 部 千円 千円 千円 千円	R3 18,000 954 954 954 87の推移 R3 13,000 6,503	R4 4,700 641 641 R4 13,100 6,429	923 923 923 R5 6,500 7,134	→ 選択して 指標の性質 値が大きいほど良い 値が大きいほど良い	R4とR5の比東
(1)活動 手動実績 R5年主な活 のたれ容)	動実績 観光パンフル (事業費の 佐野まるごと 動による効果	/ットの作成 )内訳) と観光ガイド	(マップ付) 6,500部	活動指標 観光パンフレット作成部数 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他) (うち受益者負担) (4)事業効果を説明する数 効果指標 パンフレット配布部数	単位 部 千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R3 18,000 954 954 954 90推移 R3 13,000	R4 4,700 641 641 R4 13,100 6,429	923 923 923 R5 6,500 7,134	→ 選択して 指標の性質 歯が大きいほど良い 歯が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

効果

(R5とR4の

指標值増減)

効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数

効果が下がった指標数

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

2指標

0指標

パンフレットを年度当初作成したが、年度途中で残部がなくなってしまった。

(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び令和7	年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	------	-----	------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

紙媒体だけではなく、デジタルパンフレットなど観光客のニーズにあったパンフレットにしていくことによ り、コスト削減を図り、魅力的なパンフレットにする。

効果が上がった

費用は下がった

費用の増減無し

費用が増加した

用

効果が下がった

効果は変わらない

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

作成•更新日 令和6年8月8日

事業名	観光推過	進事業		実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
-	1			施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ		スマートシティ	
1. 基本										
	部	産業文化スプ	· · · ·	予算中事業名		会計		事業計画		繰り返し
旦当組織	課	観光推進課 観光推進係		観光推進事業	予算	款		新規or継続 市単独or国県補助	継続	事業 中事業
	係 体系コード	211	名称	根拠法令、条例等	科目	項 目		義務or任意		<del></del> 勺事業
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	THE MAIN	事業	開始年度	-	実施方法		学 営
政策体系	政策		観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度			その他内部	
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開							
<b>2.事業</b> 机 (1)事業		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要			げるとおり、地域経済の活性化と活力にあふ 及び事業の全庁的な進捗管理を行う。	れた地域社会の創造を目指し、	市を挙	がて観光推	進を図る。ま	また、計画に	沿った事業	展開を実
(2)目的	勺			(3)目標値						
(= / =:	ĺ			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				市の観光客入込数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
(本事業によって成し		·国人観光客(	こ本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊し	市の観光客宿泊数	人	50,000	60,000	61,000	62,000	63,000
遂げたい	てもらう。									
状態)										
3. 前年周	度の実績(流	舌動及び費用	対効果)説明							
(1)活動	動実績			(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の指	移	ı	i	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				新規多言語看板設置箇所数	箇所	2	2	2		
活動実績	多言語看机	反を2か所設に	置した(宇津野洞窟、かたくりの里)							
R 5 年度に 	佐野市観光	比推進基本計	画における事業等の進捗状況を全庁的に							
テった主な活 動内容)	調査した。			事業費計	千円	223	370	978		
				一般財源	千円	223	370	978		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(万)文皿 日兴三/	111					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数				ı	↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明				市の観光客入込数市の観光客宿泊数	十人	6,503 40,914	6,429 56,943	, -	値が大きいほど良い 値が大きいほど良い	
(定量及び	多言語看机	反を設置するご	とで、市の観光客入込数が増加した。	川奶酰儿谷伯/山奴	人	40,914	30,943	04,290	間が入るいはこ及い	刈未が上がりに
定性)										
(5)費目	日が効果結り	果(自動判定	=)							
	5とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		2指標			1	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
アリスト (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数 らた指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった				
指標値増減)	<i>X</i> 3.7×73 1 73	指標全体			用	費用が増加した	0			
	<b>度に向けた検</b> 日5年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対果向	]上のための	課題			
見在佐野市	市に設置して	いる観光看板	に対し、毎年改修する看板が少ない。 今後	はさらに促進することことが望まれ	ເວ.					
(2) 上語	己反省点及び	/課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				耳▽糸日≣党・日月	Ī					

# 事業名 観光地域づくり法人支援事業 実施計画事業or一般事業 実施計画事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当あり 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

#### 1. 基本情報

	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	観光推進課		観光地域づくり法人支援事	予算	款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係		業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	R2	実施方法	直営
TYNK I TYNK	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開						

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

佐

佐野市において観光庁の観光地域づくり法人(DMO)の考え方に基づき、新たにDOMという手法により、民間目線でのマーケティングマネジメントを導入し「稼ぐ 力」を引き出し、観光地経営を担う観光地域づくりを行う舵取り役になり、観光誘客の推進と地域の活性化を図る、法人の事業の柱である、①観光事業、②コンベンション事業、③物販事業等について、事業を安定的に行えるよう多様な関係者で組織する観光地域づくり協議会を運営する。

(2)目的

(3)目標値

I			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的		旅行消費額	円/人	10,000	11,000	11,300	11,600	11,900
	(本事業に	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらう。	市の観光宿泊数	人	50,000	60,000	61,000	62,000	63,000
	よって成し 遂げたい	本目の極力を知りてもつい、未訪、旧石してもつり。	市の観光客入込数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
	状態)								
	J. 11.5.17								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/113	の大順		7/20	チ未良の	世19	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		観光地域づくり協議会開催数		1	3	2
\						
活動実績 (R5年度に	// mz-l-fp./////-/					
・ 行った主な活 動内容)		事業費計	千円	7,900	10,021	9,383
<b>3</b> /17 1 <del>11</del> 7		一般財源	千円	7,900	21	383
		特定財源(国·県·他)	千円		10,000	9,000
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明	民間
	ウイル
定性)	客数

民間目線によるマーケティングマネジメントの導入のほか、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことも影響し、観光入込客数及び宿泊者数ともに増加となった。

	<b>划</b> 果指標	単位	K3	K4	K5	指標の性質	R4とR5の比較
+	旅行消費額	円/人	10,087	12,972	16,105	値が大きいほど良い	効果が上がった
′	市の観光宿泊数	人	40,914	56,943	64,290	値が大きいほど良い	効果が上がった
	市の観光客入込数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した		
効果	効果が上がった指標数	3指標		
4	効果は変わらない指標数	0指標		
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標		
指標值増減)	指標全体	効果が上がった		

※10万円以上の増減により判断

				効果	
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
Ī	費	費用は下がった			
		費用の増減無し			
	用	費用が増加した	$\circ$		

#### 4. 次年度に向けた検討

#### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・国内観光客の旅行目的は多様化しており、従来の名所旧跡に加え、市街地、農山村等を回遊し、自ら体験し地域住民と交流する「コト消費」観光が増えている。観光環境はIT化も加わり急激に変化しており、即応しなければ「取り残された地域」になってしまう。

・マーケティングを活用し、ターゲットを絞った観光企画の立案が必要。

#### (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
--	----------	-------------------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

☑ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

#### 取組説明

民間目線でのマーケティングマネジメントを導入し「稼ぐ力」を引き出し、観光地経営を担う観光 地域づくりを行う舵取り役になり、観光誘客の推進と地域の活性化を図るための組織基盤を構築する必要があり、引き続き支援を継続する。

2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり

1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり

1 ひとを集める観光戦略の展開

作成·更新日 令和6年8月8日

直営

参画事業

H11 実施方法

事業分類

事業名	全国へそ	のまち協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	_	-般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報								
	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
担当組織	課	観光推進課	全国へそのまち協議会参画事	予算	款	7	新規or継続	継続	事業
	係	観光事業係	業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系□−ド	211 名称	根拠法令, 条例等		Ħ	4	義務or任意	任意的	事業

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

基本目標

政策

施策

事業概要

政策体系

全国のへそのまちを名乗る市町村により、自治体間の親善と交流、魅力ある地域づくりの推進に資することを目的として設立された全国へそのまち協議会は現在9の 会員市町村から成る。会員として負担金を支出し、総会、幹事会、イベント等に参加することで参画市町村との交流及び地域の活性化を図る。

(2)目的 (3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

加盟市町村間の連携・イベントの開催等により、へそのまちを周知 し、日本国内の在住の方々に本市を知ってもらい、来訪、宿泊して もらう。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
市の観光入込客数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800
市の観光客宿泊数	人	50,000	60,000	61,000	62,000	63,000
広域での連携事業数	事業	16	17	17	18	18
						Ī

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

活動 (R54 行った (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

事業

期間

開始年度

終了年度

/ /口玉	<b>70</b> 天順		7/20	子未良の世代	9	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議開催回数		2	2	2
/	【市の活動】 負担金支出、総会(書面協議)、構成市町村主催観光物産展	イベント開催回数	回	0	4	8
として		会議出席回数	回	0	2	2
	【協議会の活動】	事業費計	千円	75	10	20
/	<ul><li>総会、幹事会、加盟促進、観光物産展等の開催、災害時相互応量援協定事業、情報発信</li></ul>	一般財源	千円	75	10	20
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

加した。

(定量及び 定性)

加盟市町村間の連携・イベントの開催等により、へそのまちを周知 し、日本国内の在住の方々に本市を知ってもらい、来訪、宿泊が増

(4) 事業効果を説明する数値データの推移 ↓選択して下さ								
	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
	市の観光入込客数	千人	6,503	6,429	7,134	値が大きいほど良い	効果が上がった	
¥	市の観光客宿泊数	人	401,914	56,943	64,290	値が大きいほど良い	効果が上がった	
=	広域での連携事業数	事業	2	3	15	値が大きいほど良い	効果が上がった	

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
жĦ	効果が上がった指標数	3指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

|協議会の事業内容がコロナ新型コロナウイルス感染症の影響で減ってしまった為、積極的な事業推進の提案をすることで事業増加を目指す。

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<b>V</b>	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

市町村交流とまちづくりの推進を趣旨とする協議会のため、総合政策部局所管と打診をし、

目的(対象・意図)の再設定をする必要がある。

事業名	栃木県観	光物産協	<b>3会参画事業</b>	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
	1			施策横断的な取組との関連性	SDGs				スマートシティ	該当なし		
. 基本						1						
11176E16#h		観光文化スク		予算中事業名		会計		事業計画	単年度組織			
!当組織	PI	観光推進課 観光推進係		栃木県観光物産協議会参 画事業	予算	款	7	新規or継続 市単独or国県補助	継続市単列			
	係 係系コード	銀元推進1余 211	名称	根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目	1	義務or任意	任意的	- 3 / 12		
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	-	実施方法	直			
策体系	政策		観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度	1113	事業分類	参画	_		
	施策		ひとを集める観光戦略の展開		7 431123	<b>小</b> ( ) 十/文		子未刀炔	20	<del></del>		
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要  県内の観光事業者や自治体で組織され、栃木県内の観光情報の収集・提供やPR事業を行っている栃木県観光物産協会に対して、会費として負担金を支出し												
業概要	会議やイベン		観光情報の収集発信を行っている。			N 800 0 1937-1						
(2)目的	的 T			(3)目標値	774 /T	5.0	5.4	5.5	5.0			
目的				効果指標 市の観光客入込数	単位	R3 10,000	R4 8,500	R5	R6 8,700	R7		
本事業に	木市の観光	情報の提供	により、本市の魅力を知ってもらい来訪。宿		事業	16,000	17	8,600 17	18	8,80		
よって成し	泊してもらう。			因為代學是所手来級	子木	10	17	17	10			
遂げたい 状態)												
DUBLY												
<b>.前年</b> 原 (1)活動		動及び費用	<b>引対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ活動指標	タ及び 単位	が事業費のi R3	性移 	R5				
				会議等への出席回数	回	0	0	1				
5動実績	【市の活動】	負担金の支	出。協会が発行する観光情報誌への情報	情報提供回数	□	12	12	12	12			
ロシンストラ R5年度に			ごちぎ旅ネット」に記事投稿。	加盟団体	団体	384	369	368				
			D活動】県内観光情報の収集・提供、PR	事業費計	千円	30	30	30				
動内容)	事業の助成			一般財源	千円	30	30	30	•			
					千円							
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
				(うち受益者負担)	千円							
(3)活動	動による効果			(4) 事業効果を説明する数		1			↓選択して			
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質			
効果説明	<b>粗光情却</b> 註	への情報坦	供やHPへの記事投稿により、本市への観	市の観光客入込数 広域での連携事業数	千人 事業	6,503 2	6,429 13		値が大きいほど良い 値が大きいほど良い	効果が上がっ効果が上がっ		
(定量及び	光誘客が図		六でIF、W記事技術により、本中、W既	仏域しの建済事業数	尹未		13	13	III) A CUILCRU	X)未//:工//· )		
定性)	, 5,,,,,,,	_ 1 0,00										
(5) 費用	用対効果結果	— 記(自動判局	=)									
	5とR4の一般則		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果				
効果	効果が上がっ	った指標数	2指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
メリス (R5とR4の	X/ 木はタリンはい目に放		-	費	費用は下がった	0						
旨標値増減)	7732171 13 2	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した						

取組説明

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

事業名	さの秀郷	ほつり開催	養支援事業	実施計画事業or一般事業	—я́	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	輯										
	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
担当組織	課	観光推進課		さの秀郷まつり開催支援事業	予算	款	7	新規or継続	継続	継続事業	
	係	観光事業係		Cの方がより別性又及学来	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業	
	体系コード	211	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	り事業	
政策休系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H5	実施方法	直	直営	
担当組織 課係 体外 基本 政策体系 政策体系	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	支援	事業	
	施策	1	ひとを集める観光戦略の展開				•				

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

東国における武芸の祖として武士たちに崇められた弓術の達人・藤原秀郷を称えて開催される「さの秀郷まつり」を支援することにより、観光誘客を図る。

(2)目的

事業概要

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	市民の郷土愛醸成並びに市外からの観光誘客	まつり来観者	人	90,000	90,000	80,000	80,000	80,000
(本事業に								
よって成し 遂げたい	(補助金対象団体)							
状態)	さの秀郷まつり運営委員会							
,								

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動	実績	(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移								
	①開催日 令和5年9月16日(土)	活動指標	単位	R3	R4	R5				
	②開催場所 市役所周辺 ③内 容 プロジェクションマッピング、市民総おどり、みこし・おはやし巡	会議開催回数		3	8	10				
	行、ステージイベント 他	現場作業		0	0	60				
	④来 場 者 約80,000人									
	(市の活動) 運営委員会に補助金を交付する。 (事業費の内訳) 7,000千円	事業費計	千円	0	0	7,000				
#WF 1G /	(運営委員会の活動)検討委員会、運営委員会、実行委員会の開催。 (実行委員会の活動)協賛依頼、各種申請、広報宣伝、会場設営、	一般財源	千円							
		特定財源(国·県·他)	千円			7,000				
	当日の各種イベント運営、会場清掃、片付け等の実施。	(うち受益者負担)	千円							

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、R3年度及びR 4年度は祭りの開催を中止したが、R5年度は4年ぶりに開催さ れ、多くの来観者がにぎわいを見せると同時に観光誘客にも繋がっ た。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
まつり来観者	人	0	0	80,000	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)						
効果	効果が上がった指標数	1指標					
	効果は変わらない指標数	0指標					
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標					
指標値増減)	指標全体	効果が上がった					

※10万円以上の増減により判断

		効果				
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
費	費用は下がった					
	費用の増減無し					
用	費用が増加した	0				

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

事務局に市民団体を入れる。

新規イベントの開催、既存イベントのブラッシュアップ。

他祭り実行委員の実行部隊との協働。

協賛してもらうための新たなアイデア。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止	、再編成、	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	--------	-------	---------------

- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- ☑ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

事務局に市民団体を入れる。